

2011年5月12日

## ミスミグループ本社 2011年3月期 連結業績 ーアジアを中心に国際事業が拡大ー

株式会社ミスミグループ本社は本日、2011年3月期(2010年4月1日～2011年3月31日)の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

	2010年3月期	2011年3月期	増減率
	百万円	百万円	%
売上高	89,180	121,203	+35.9
営業利益	8,408	15,562	+85.1
当期純利益	3,885	9,007	+131.8
1株当たり当期純利益	43.84 円	101.16 円	+57.32円
1株当たり年間配当金	10 円	20.2 円	+10.2円

### <2011年3月期の連結業績ハイライト>

#### 1. 国際事業の拡大と国内の回復により増収・増益

- 2011年3月期の売上高は1212億円(前期比35.9%増)、営業利益は155億円(前期比85.1%増)、当期純利益は90億円(前期比131.8%増)で、増収・増益となりました。
- 中国を中心としたアジア圏の経済成長が続き、日・米・欧でも緩やかながら回復基調が続きました。こうした環境の中、当社が積極的に取り組んでいる国際事業拡大の効果もあり、海外の売上高は大きく伸長することができました。
- 一方、3月11日に発生した東日本大震災の影響により売上高は予想に対して4億9千万円、営業利益は1億3千万円未達成となりました。

#### 2. 自動化事業、エレクトロニクス事業が大幅に増収

- 事業部門別の当期売上高は、自動化事業748億円(前期比45.5%増)、金型部品事業266億円(前期比15.7%増)、エレクトロニクス事業113億円(前期比40.8%増)、多角化事業91億円(前期比17.3%増)となりました。
- アジアを中心に自動車関連、および液晶・半導体などのエレクトロニクス関連で旺盛な設備投資が続く中、ファクトリーオートメーション関連の自動化事業、エレクトロニクス事業が好調に推移しました。

#### 3. 海外売上高比率は27.3%

- 地域別の当期売上高は、日本881億円(前期比31.1%増)、アジア255億円(前期比56.4%増)、北米・南米45億円(前期比33.7%増)、欧州29億円(前期比33.6%増)となりました。
- 当期の海外売上高比率は27.3%(前期比2.7ポイント増)と過去最高を更新しました。

#### 4. 年間配当金は 20.2 円を予定

- 2011 年 3 月期の期末配当は1株当たり 10.5 円とし、先に実施いたしました中間配当金 9.7 円と合わせまして、年間 1 株当たり配当は 20.2 円、配当性向は 20%を予定しています。

#### 5. 2012 年 3 月期の連結業績予想

2012 年 3 月期の連結業績予想(2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
連結業績予想	139,000	16,700	16,700	9,800	109.54

- 2012 年 3 月期は、引き続き中国を中心としたアジア圏経済の成長を見込んでおりますが、一方で、東日本大震災の影響により国内の景気については不透明感があります。こうした中、当社は引き続き国際事業を拡大することで、11年度の業績は過去最高を見込んでおります。

#### [業績予想に関する留意事項]

この資料に掲載されている2012年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社及び当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える重要な要素には当社及び当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2011 年 3 月期の連結業績の詳細は別添の決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ 株式会社ミスミグループ本社 経営総務室 広報・IR 担当 Tel : 03-3647-7037 Fax : 03-3647-5802 mail : cc@misumi.co.jp
---